

変えよう鎌ヶ谷！市民が主役 県政通信

千葉県議会議員

岩波はつみ

発行日：2025,03,25(No71)

発行者：千葉県議会議員 岩波初美

■岩波初美事務所■

〒273-0124 鎌ヶ谷市中央 1-1-34 前田ビル 3F

電話 047-445-5780 FAX 047-445-5790

メール kamagaya@iwanamihatsumi.com

活動ブログ <https://iwanamihatsumi.com>

【緊急報告】 @鎌ヶ谷市役所 6.22 鎌ヶ谷市長選挙への挑戦を公表

3月21日、鎌ヶ谷市役所の会議室を借用し、県内メディアに向けて、来る市長選挙への挑戦の決意と考え方を説明した。

記者からは、現市長への評価を問う質問の他、2018年の3回目の市長選挙会見の際に、「これで最後の選挙とする」と説明したのに、4回目に挑むこととした理由は？と、私自身がすっかり忘れていた過去の発言への質問には、県議を務め仕事を通じて、やる気がチャージしてきたと、何故今か？には、財政立て直しが急務であるためと答えた。



(記者会見での説明内容を解説する動画)

岩波初美 (イワナミ ハツミ) 経歴

■1959年(昭和34年)山梨県生まれ

■鎌ヶ谷市鎌ヶ谷1丁目在住

■夫・子ども3人・孫5人

■千葉大学教育学部卒業、千葉工業大学大学院修士課程修了。

■大学卒業後、生活協同組合職員8年、鎌ヶ谷市議会議員4期。NPO法人役員、会社役員を経て、アクアライン800円提言・実現。千葉工業大学特別講義講師11年間務める。鎌ヶ谷市長選挙に3回挑戦。

■現在 2019年4月より千葉県議会議員2期、知的障がい者グループホーム職員、NPO法人元気になるう福島理事、児相と親子の架け橋千葉の会世話人、児童相談所のあり方を考える地方議員懇談会代表、北千葉道路地下化で街づくりの会顧問

会見では、市民の皆さんに提示する公約の3つの柱を説明した。

- 財政の立て直し～経営戦略室の新設
- 非常時に備え専門チームを～危機管理室の新設
- 公権力による人権侵害を抑止～人権室の新設

岩波はつみ県政報告会 ご案内

日時 4月6日(日)13時半～15時
会場 鎌ヶ谷市中央公民館集会室
※参加は自由です。直接会場へ

地元経済を動かし財政を立て直す 人の和、大地の力で市民が歩きたくなる街を創る

県議経験・民間経験を通じて描く市民の未来

30代、私は鎌ヶ谷市議会議員となりました。2期8年は何もできない失望感に落ち込み、40代は政治の世界から離れ、民間事業とNPO事業に邁進しました。その中で東京湾アクアライン通行料金が高額過ぎて庶民は使えない実態をみて、専門機関に調査を依頼しその結果を受け、800円運動を呼びかけました。7年がかりで実現できたことが、私を政治の道に引き戻しました。

50代市長選挙に繰り返し臨むも実現できず2期市議として市政に携わり、60代には千葉県議となり2期を疾走し、この間は同意なき親子分離を引き起こしている、行き過ぎた児童虐待行政に真っ向から挑んできました。

その経験を活かし、市が家族支援と虐待防止の要となり、同時に誤認・冤罪から親子を救う役割を持つこと、人権侵害を防ぐ砦となることで全国モデルとなるために働くことを決意しました。

公権力による人権侵害を抑止～

人権尊重条例の新設 を盛り込んだ理由

写真は2月22日、大阪教育大学を会場として、児童相談所のあり方を考える勉強会関西大会を主催しました。前年の東京大会2回を経て全国の地方議員とつながり、深刻な憲法違反である行



き過ぎた親子分離を抑止するために、現状の共有と当事者たちとの交流を目的としたイベントです。

児相強化に予算を投入すればするほど、公権力による誤認や冤罪、強権出動は常に付きまとい、法令で救われない場合は裁判で個人が訴えるしかなく、行政相手の訴訟は時間も費用負担も個人にのしかかり、泣き寝入りをせざるを得ない事例が生じていることを危惧します。

市が市民の人権侵害を抑制するために、第三者調査チームを置き行政の判断経緯と結果を再調査・検討し、セカンドオピニオンとして意見具申を事案ごと執行機関に提示できるよう、人権尊重条例を整える必要があります。



仔馬のいる野馬追公園を創りたいです。野馬を追い込んだ《とっこめ》を再現して。ワクワクしてきます。

3月上旬、福島県相馬地域を訪問しました。野馬追い発祥の千葉県北西部と1,000年の歴史を刻む相馬地域との共同プロジェクトの可能性を、現地リーダー達と共有してきました。